

左近の桜は鎌倉から「桐ヶ谷」桜が今年も開花します



昨年の開花時の「桐ヶ谷」(画像提供 鎌倉同人会)

3月3日はひな祭り。ひな人形を飾られるお宅も多いことでしょう。ひな人形を出して桜と橘を並べる時に、「左近の桜、右近の橘」という言葉が思い出されませんか。右近の橘はミカン科の木、では左近の桜は？

左近の桜は、京都御所の紫宸殿にある桜のこと。これまでに何度も植え替えられていますが、鎌倉桜とも呼ばれる「桐ヶ谷」という桜が左近の桜だったことがあります。「桐ヶ谷」は、中心が白で花びらのまわりにピンクが残る美しい桜です。「桐ヶ谷」は、鎌倉時代から記録があり、鎌倉材木座の谷戸・桐ヶ谷にあったので「桐ヶ谷」の名が付いたといわれています。

「桐ヶ谷」が左近の桜となったのは、1357年に足利尊氏が、東国の土産として鎌倉生まれのこの桜を京へ運び、京都御所の紫宸殿に植えたことから。

ひな人形は、京都御所にある紫宸殿に習い、実際に植えられている左近の桜・右近の橘と同じ配置で並べられているのです。

鎌倉で「桐ヶ谷」が植えられているのは、近年までは、極楽寺と大船フラワーセンターだけでしたが、鎌倉同人会が創立100周年記念事業として「桐ヶ谷」の普及を目指し、平成28年から鎌倉各所に植樹していること等から、鎌倉の様々な場所で見ることができます。開花時期は年によって違いますが、ソメイヨシノと同じくらいか、少し後です。

見られる場所

鶴岡八幡宮境内、極楽寺、大船フラワーセンター、虚子立子記念館、鎌倉文学館、永福寺跡地、円覚寺、光明寺、鎌倉駅西口広場、鎌倉警察署、第二中学校 ほか

参考図書

高柳英磨写真集 『鎌倉のさくら』

「桐ヶ谷」植樹のお問合せ

鎌倉同人会 ☎0467 - 61 - 1930